

新富町 議会だより

131号

2026年7月

6月定例会

- 特集「おねがいごとくといいな」
- 6月定例会報告①
- 一般質問(8名)
- 6月定例会報告②・6月臨時会報告
- 行政調査報告
- Pick up

おねがいがとどくといいな



かたぎり けいとさん



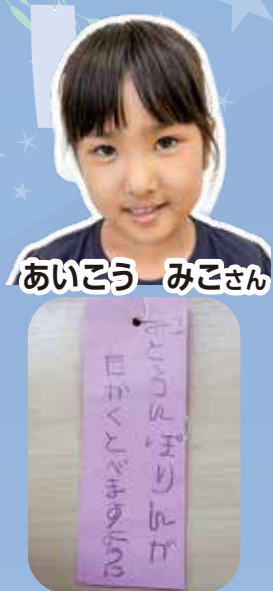
こやま りゅうしんさん



うすだ るなさん



はやしだ かのんさん



あいこう みこさん



いのうえ たくみさん



さかした そうまさん



ながの ちよさん



やまぐち あやとさん



はま ちはるさん



とどろき ともよさん

6月定例会報告①

総務産業 常任委員会

一般会計補正予算（第3回）

◆ 歳入・歳出ともに **3億1,810万8千円** を増額

◆ 予算総額は **167億3,659万5千円** に

歳入の主な内容

○国庫支出金（国民年金事務費など）

○県支出金（スポレク施設運営開始費、小学校給食費負担軽減、地域農業構造転換支援など）

○繰入金・諸収入・町債の調整

主な歳出（使いみち）

◆ 防災・公共施設の機能強化

✓ 一ツ瀬川スポーツレクリエーション施設

・非常用電源、トイレのバリアフリー化、断熱改修の設計委託

✓ 庁舎北側の防災倉庫整備

・移動式排水ポンプ・EV車・資機材の保管、充電設備整備

✓ 庁舎等への防犯カメラ設置

◆ 歴史・文化資源を活用した映画制作支援

・町の認知度向上・交流人口拡大を目的に補助金を計上

◆ 子育て・福祉

✓ 国民年金保険料の育児免除制度に伴うシステム改修

✓ 温泉健康センター「サン・ルピナス」ボイラー更新

◆ 農業支援

✓ 畑作物産地維持のための機械導入補助

✓ 有機農業の生産拡大に向けた機械導入補助

✓ 高速道路を跨ぐ農道橋の点検

◆ 教育施設

✓ 富田中・新田学園の防犯カメラ設置

✓ 環境教育推進事業の補助金



施設の防災機能強化



車庫兼防災資機材倉庫整備



老朽化したボイラー設備更新



防犯カメラ増設

総括

今回の補正予算および各契約議案は、防災機能の強化、公共施設の安全性向上、農業支援、子育て支援など、町民生活の基盤を支える事業を中心に精査されました。特に、一ツ瀬川スポーツレクリエーション施設の防災機能整備や庁舎北側の防災倉庫整備など、災害対応力

を高める取り組みが重点的に計上されています。また、物価高騰の影響を踏まえた町民負担への配慮や、ごみ袋制度見直しに関する意見も交わされました。いずれの議案も必要性和妥当性が認められ、委員会として全会一致で可決しました。

6月定例会報告①

文教厚生常任委員会

国民健康保険特別会計補正（第1号） 歳入・歳出ともに16万9千円を減額 予算総額は 19億8,544万7千円	介護保険（保険事業）補正（第1号） 歳入・歳出ともに144万円を増額 予算総額は 17億6,895万5千円	後期高齢者医療特別会計補正（第1号） 歳入・歳出ともに28万4千円を減額 予算総額は 5億6,341万7千円
---	--	---

総括

本委員会に付託された5議案は、国保・介護・後期高齢者医療の各特別会計補正、国保税条例改正、ごみ袋制度見直しに関する条例改正であり、いずれも制度運営の安定化と町民負担の適正化を目的とした内容でした。委員会では、税率統一の

見通しや基金残高の持続性、介護認定の公平性、ごみ袋供給の安定性など、町民生活に直結する論点について活発な質疑が行われました。総じて、必要な調整と制度改善を図る補正・改正であると判断し、全議案を全会一致で可決しました。

6月2日の台風6号による災害復旧工事のための緊急対策 町内35ヵ所 総額 **2,830万円**



黒坂3号線法面復旧工事



平伊倉～三財原線法面復旧工事



川床3号線支障木伐採



旧中央公民館支障木伐採



新田中プールサンシェード修繕



金丸幹線水路復旧工事

請願第1号「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書提出」審査報告

日本政府に対し核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書提出を要請するものです。委員会では、賛成・反対双方の意見を確認し、これまで継続審査として慎重に議論を重ねてきました。賛成意見としては、唯一の戦争被爆国として核兵器廃絶を目指す姿勢を支持する声があ

り、反対意見としては、核保有国が条約に参加していないことや日米安全保障体制との整合性を懸念する指摘がありました。しかし、核兵器のない平和な世界を目指す点では全委員が一致し、最終的に本請願は全会一致で趣旨採択と決しました。

議員定数・議員報酬に関する調査特別委員会報告

議員定数及び議員報酬の在り方を検討するため、令和7年12月に特別委員会を設置し、7回の会議、全議員アンケート、意見交換を行いました。議員定数12は県内・全国の類似自治体と比較して平均的で、アンケートでも「適当」が8人と過半数を占めました。意見交換では削減を求める声と現

状維持を支持する声がありましたが、総合的に判断し、現時点では「適正」と結論づけました。議員報酬については県内町村で最も高く、全国平均より高い結果でしたが、アンケートでは「適当」が7人で最多でした。今後も人口動向や町民意見を踏まえ、継続的に評価していく必要があります。

一般質問(8名の議員が登壇)

いまむら ゆきのぶ
今村 行信 議員



1. F-35B の運用について
2. 小学校講堂等の整備計画について

まつうら みお
松浦 美緒 議員



1. 誰もが使いやすい図書館運営について
2. 感染・重症化を防ぐワクチン接種について
3. 生理用品の配置について

みうら ちひろ
三浦 千尋 議員



1. 自治公民館運営状況について
2. 新富新田原 SIC 周辺活性化について
3. 基地問題について

おおき しゅんじ
大木 俊仁 議員



1. ふるさと納税について
2. 一ツ瀬川スポーツレクリエーション施設について
3. 住宅防音工事及び木造住宅耐震診断事業について
4. 児童・生徒のスマホ・SNS の利用について

町政を問う

1. 新田原基地関連について
2. 危機管理について
3. 環境問題について

1. 新田原基地騒音対策について
2. 子育て支援について
3. 高齢者支援について

1. 出産前・後支援と子育て支援事業について
2. いじめ・不登校支援について

1. 防災・減災に対する取り組みについて
2. 町内公立学校の運営について

いび かねひさ
揖斐 兼久 議員



いしざき しゅんじ
石崎 俊仁 議員



やぎ なおみ
矢宜 直美 議員



はたの おさむ
羽田野 治 議員



スマホで視聴
できます▼



いま むら ゆきの 信 議員
今村 行

F-35Bの騒音軽減策等の 要望の成果は

長 スローランディング時の飛行
町 については配慮を感じている

問 F-35Bの騒音軽減につ

いて、町長が国へ行った要望・協議等以降、飛行回数削減や騒音緩和措置が進んでいると感じているが、町長の認識は。

町長 F-35Bのスローランデ

ィングで町内を旋回する飛行が、町内全域に最も影響を及ぼすため、海上で旋回し、学校が集中している地域を通過しないよう観音山の外側を旋回するよう要望した。その点については配慮いただいていると思う。

問 基地へのシミュレーター導入は。

町長 シミュレーターはまだ導入されていないと聞いている。

問 導入されれば、今以上の騒音緩和策となり負担軽減が図られると思うが、町長の認識は。

町長 シミュレーターを早く

設置するよう要望しており、少しでも早く導入されることを期待している。



騒音をリアル表示

要望 私は、F-35Bの運用

後の航空機騒音により、「日本一やかましい町」になったと感じている。F-35B飛行時と通常時の騒音差をリアルタイムで表示できれば、耳と目で騒音差

を体感できる。毎日、町内外から多くの来客でにぎわう直売所に設置すれば、町民の騒音負担への理解促進や、新田原基地への観光客増につながり、直売所への来客増加も期待できる。このような騒音測定機の設置を望む。

学校講堂について

問 小学校の講堂の維持管理状況は。

教育長 老朽化が進行してい

る施設であり、新田小学校は築52年と古く、現在は修繕等を行いつつながら長寿命化を図っている。引き続き、限られた財源の中で効果的かつ計画的な維持管理に努め、児童生徒が安心して学べる教育環境の確保に取り組む。

問 今後の整備計画は。

教育長 緊急性・必要性を十

分に見極めながら、計画的かつ効果的な施設整備に取り組んでいく。

要望

新田小学校講堂は築52年経過しており、各所に劣化や破損が見られ防音機能が大きく低下している。またシロアリ被害による床の破損もあり安全性に懸念がある。児童の利用に危険度が高いため、現低学年が高学年になるまでの早期建て替えを望む。



子どもたちの安全な教育環境には緊急な措置を

スマホで視聴
できます▼



まつ 浦 美 緒 議員



小中学校女子トイレに生
理用品の配置は

教育長
校内女子トイレに設置
している

問 設置開始時期を伺う。

教育長 令和5年12月から、全ての小中学校において、小学4年生から中学3年生まで、女子児童生徒が使用する校内の女子トイレ内に専用ボックスを設置し、生理用品を配置している。



専用 BOX 設置を充実

問 トイレトペーパーと同様に、誰もがいつでも無償で使える常備品として、公共施設の個室トイレに生理用ナプキンの無料配布システムを導入する自治体が増えているが、見解を伺う。



安心を手にとできる公共施設に

町長 先進事例や運用方法等について調査・研究を行い、今後の対応について検討する。

誰もが使いやすい図書館
運営について

問 新刊紙書籍の導入と活用を伺う。

教育長 毎月約200冊の新刊を導入し、第三水曜日に開架している。開架日には新刊を待ちわびた来館者で賑わいを見せており、利用者への情報発信を積極的に展開している。

問 自分が読みたい本が見つからなかった場合の対応は。

教育長 館内のリクエスト用紙に記入するか、メールで受け付けている。他の図書館に蔵書がある場合は相互貸借制度を活用し、概ね1〜2週間で提供可能である。県内図書館に所蔵がなく、新刊として購入を検討する場合は、選書及び購入手続きに時間を要するため、提供までに2〜3カ月程度かかる。

感染・重症化を防ぐワク
チン接種について

問 HPVワクチンは近年、

男性の任意接種を助成する自治体も増えているが、男性接種の効果と見解を伺う。

町長 肛門がんやその前駆病変、性感染症である尖圭コンジローマといった、自分自身のがんや性感染症を予防する効果がある。また、パートナーへのHPV感染を防ぎ、性感染症や子宮頸がんなどのHPV関連がんの予防につながる可能性がある。まずは接種効果を丁寧に説明していくことが重要であり、今後の対応を検討する。

問 RSウイルスワクチン接種による乳幼児の重症化予防効果を伺う。

町長 通常の予防接種と異なり、妊娠中に母親がワクチン接種することで胎内に作られた免疫が胎盤を通して胎児へ移行する。これにより、最も重症化しやすい生後数か月の赤ちゃんを直接守ることができる。



赤ちゃんの健康を守る。これにより、最も重症化しやすい生後数か月の赤ちゃんを直接守ることができる。

スマホで視聴
できます▼



み うら ち ひろ
三 浦 千 尋 議員

新富新田原S・I・C周辺の 活性化は

町 長 関係行政機関及び県内事業 者と共に進めている

問 インターチェンジ周辺の活性化は、町内はもちろん上新田地域の最大関心事にあるが現在の状況は。

町長 相談企業は複数社あるが、経済情勢等の変化により具体的な実行に至っていない。

問 町独自の計画について伺う。

町長 地域住民や高速道路及び幹線道路利用者のニーズを勘案し、引き続き企業への提案も進める。

問 高速道路による経済効果は、延岡248億円、日向159億円、宮崎市47億円と承知している。また、県北の「はゆま」は10年前から約2倍超の127万9千人となっている。博多、北九州からの誘客を沿線

の皆さんと共に県央へ引き寄せる努力が求められる。スマートインターチェンジ周辺に買い物ができる場所を望む声は、上新田地域として「血の出る思い」である。スマートインターチェンジは町の北の玄関口として、三納代地区は東の玄関口として町内全体を盛り上げ、経済効果は掴み取る期待と決断が必要ではないか。

町長 計画していない訳ではなく、戦略性の問題。開通による経済効果は必ず上がる。住民の日常生活の利便性向上は別次元で議論し、町内全体の利益につなげていきたい。

北の玄関スマートIC



上新田地区悲願の買い物施設を

基地問題について

問 騒音対策に関し、国からの新たな具体策はないか伺う。

町長 F・35Bに即した騒音対策並びに住宅防音工事となるよう、引き続き防衛省と調整していく。

問 国民保護法に関し、避難・救護・被害の最小化とあるが、具体策を伺う。

町長 国及び県との連携を適切に図り、被害の最小化に努める。

自治公民館運営状況は

問 加入率の推移を伺う。

町長 令和3年度63.5%、直近では令和7年度59.5%、今年度は5月1日の時点で58.9%と減少が続いている。

問 区長制度は歴史の財産でもあり、地域づくり顕彰事業等の対象条件に幅を持たせるなど、地区運営上で考慮すべき点を伺う。

町長 社会情勢の変化により自治会の役割も変化している。地区加入のメリットを見出せるかも重要であり、今後は防災・防犯・孤立防止の分野の重要性が高まる。地区の持続的な発展は大切であり、引き続き加入促進に努力する。



地域を守る区長会

スマホで視聴
できます▼



おおき しゅんじ
大木 俊仁 議員

ふるさと納税の使い道は

長 138事業、

町 約13億7千万円を充当

問 令和7年度ふるさと納税の実績について伺う。

町長 令和7年度の実績は総額22億7,587万8,282円で前年対比は106%となり過去最高額を更新した。

問 主な使い道について伺う。

町長 条例に基づき町の様々な施策に活用している。令和7年度は返礼品等の経費を除き、138事業で約13億7千万円を充当した。内訳は、福祉や高齢者支援、学校・社会教育の充実などに38事業で約5億3,500万円、子育て・教育、防災や生活環境の整備などに38事業で約2億8,000万円、さらに、商工業や農畜産業の振興、観光や地域づくりの推進などに62事業で約5億5,400万円

を活用している。

問 がんばる新富町応援基金の現在の残高は。

町長 現在の残高は、10億8,555万7,664円である。

問 ふるさと納税の今年度の目標は。

町長 今年度は30億円を目標としている。



7億円以上の寄付を集める人気の鰻のかば焼き

問 企業版ふるさと納税の実績と使い道について伺う。

町長 令和7年度が5億3,312万2千円で前年度比2.46倍と大きく伸びている。使途については地域活性化やスタジアム整備、再生可能エネルギー事業などに活用している。

一ツ瀬川スポーツセンターについて

問 一ツ瀬川スポーツセンター施設をどのように改修するのか。

町長 施設の改修は、浸水想定地域でもあるため、被災時の生活支援を目的に、非常用電源や食事の炊き出し、入浴のための浴室の整備など、避難をした後の生活を維持するための機能を備えた改修をしていく。

問 整備のための財源について伺う。

町長 財源として有利な地方債である緊急防災・減災事業債を活用していく予定である。

問 今後の施設運営方法につ

いて伺う。

町長 ゴルフ場主催のコンペについては、従来親しまれてきた「ゴルフ場主催コンペ」を順次開始する。指定管理者が提携しているスポンサー企業等と連携する協賛コンペなどを検討する。ゴルフ場を利用していない若い世代の利用促進や、6月から再開したレストランを起点としたゴルフ場利用者以外の利用を促し活性化を図りたい。



防災機能を備えた施設で利用客の増加を図る

スマホで視聴
できます▼



い び かね ひさ
損 斐 兼 久 議員

防犯カメラの設置について

長 計画的に町内各施設への設置を進める

問 防犯カメラ設置に向け、既に着手している事項は。

町長 防犯カメラの運用方法について、犯罪抑止や安心・安全の確保を期待しつつ、プライバシーに配慮したルールを定めた。



防犯の切り札

問 地区集会所のエアコン室外機が2件盗難に遭った。早期の防犯カメラ設置を望む。

町長 今回、役場本庁舎、新田コミュニティセンター、上新田公民館等に防犯カメラを設置するための予算案を提出した。今後も計画的に町内各施設への設置を進める。

新田原基地関連について

問 防音工事の昨年度の実績は。

町長 40世帯が終了し、現在40世帯が工事を実施している。5月末時点で、対象400世帯のうち150世帯が完了した。

問 コンター見直しの進捗状況は。

町長 令和7年から9年にかけて騒音状況を調査し、その後

コンター線の見直しに入る。

問 整備拠点誘致に関する現在の動きは。

町長 関連企業・機関に働きかけているが、具体的な進捗はない。引き続き実現性を考慮しながら活動していく。



騒音に悩まされない住環境を

環境問題について

問 ゴミ収集には様々な課題があるが、どのような課題を把握し、どのように解決していくのか。

町長 ゴミの収集は、西都児湯管内の市町村で構成する協議

会で分別要領を決定し、各市町村が契約した業者が実施しているが、市町村ごとに収集基準に差があるのではないかとの意見もある。協議会内で情報共有を密に行い、収集業者とも連携して解決していく。

問 外国人住民がゴミ分別に苦慮している地区がある。分別徹底の手段は。

町長 各事業所と連携し、外国人雇用者への分別指導をお願いしている。

問 ゴミ分別要領を示した表の多言語化は可能か。

町長 様々な手法を検討する。

問 町指定ゴミ袋提供の現状と代替案は。

町長 原材料費が高騰し、安定供給に支障が生じる恐れがある。廃棄物行政の安定運営と町民負担の軽減を図るため、市販の透明ゴミ袋に町指定の収集シールを貼付する方法へ転換していく。

スマホで視聴
できます▼



いし ざき 石 崎 しゅん じ 俊 仁 議員



F・35Bの新たな騒音今まで の防音工事でいいのか

町長 防衛省には効果の検証を
してもらった必要がある

問 自前の騒音計での測定ではあるが、F・15の離陸時の音量とF・35Bのスローランディング時の音量は、音の大きさでいうとほぼ同じくらいであった。しかしながら、音の質や感じ方はまるで別物である。今までの防音工事でいいのか、また、すでに防音工事が完了している住宅に対しての対応をどう考えるか、町長の見解は。

町長 まずは、F・35Bの騒音が特殊であることを防衛省に認識してもらうこと。他の機種と同じような防音工事の対応でいいのか、しっかり検証してもらう必要がある。その結果、今までの防音工事では効果が薄い、もしくは想定以上の騒音が室内で発生しているという状況であ

れば、それに見合った工事のやり方に変更してもらうよう要望していかねばならない。



新たな騒音被害に対し国に対応を求める

問 新富町はF・35Bの騒音に対する負担軽減策として、いち早く全住民への現金給付を決定した。住民の精神的な負担に對し、少しでも寄り添う町の姿



実状に見合った国の手立てが急がれる

勢は大いに評価すべきだと思う。本来なら国がやるべき対策であるが、制度上、現金給付ができないことも承知している。こういったことに対する町長の見解は。

町長 住民の皆さんは、国防というものを認識しながら騒音に耐えている。そういった部分にしっかりと国が手立てをしていくという時代が変わってきた。現状は、戦後最も複雑で厳しい安全保障環境だといわれているのに、昔作った法律の範囲内ではしか補償をしないということに關しては、やはり変更を求めていく必要がある。

高齢者支援・対策について

問 高齢者向け公営住宅を整備する考えはないか。

町長 必要性については十分認識している。しかしながら、高齢者専用となると、バリアフリー化といったハード面にとどまらず、入居者の安全確認や生活相談、見守りサービスといったソフト面の体制確保など、多くの課題がある。今後の方向性としては、高齢者専用公営住宅に限らず、より効果的で実現可能な手法を検討していきたい。



高齢者専用住宅も選択肢の一つに

スマホで視聴
できます▼



やぎ 屋 直 美 議員

子育て支援の課題と対策

長 今後の新施設開設によ
町 り、さらに拡充を図る

問 産後ケア事業の概要と利用状況は。

町長 デイサービス型は32組、アウトリーチ型は5名で延べ24回利用。今年度から宿泊型も開始したが、現在の利用者はない。

問 産後うつへの対応・支援は。

町長 令和7年度は5名を把握しており、妊娠期から訪問や面談など継続的な支援を行っている。

問 一人の時間を確保し、安心して休める場所や交流支援はあるか。

町長 ※レスパイトと母親同士の交流支援が一体化したサービスはなく、今後の協議が必要。

問 気軽に相談できる窓口やメンタルケア体制はあるか。

町長 妊娠期からの面談・訪問を実施している。



簡単検索・気軽に相談

問 日曜・祝日に利用できる場所や屋内遊戯施設がなく不便。子育て支援事業における現在の課題と解決策はあるか。

町長 利用時間の制約や周知不足が課題。令和9年4月に子ども家庭センター、令和13年度に総合福祉センターを整備し、屋内遊戯スペース等の充実を図る。

る計画。設計段階で町民ワークショップを実施し、意見を反映する。

要望 母親の一人時間の確保や、気軽に交流できる支援の充実を求める。

いじめ・不登校支援について

問 町内におけるいじめ・不登校の現状、支援と利用状況は。

教育長 いじめは小学校9件、中学校46件。不登校は小学校16人、中学校24人。学校では本人・保護者への面談や家庭訪問を実施し、個々に応じた支援を行っている。支援先には県教育支援センター（コネクト）、町教育支援センター（けやき教室）、校内教育支援センターがあり、小中学校合わせて19名の子どもたちが利用している。

問 けやき教室の入級手続きの簡略化は可能か。

教育長 申請書類の見直しなど、運用面での簡素化を検討する。

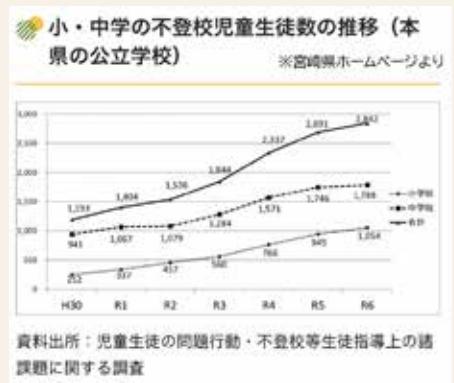
問 けやき教室の時間延長、送迎、給食支援は可能か。

教育長 子どもの回復段階に合わせ、午前中開設としている。

問 自学習ではなく、安心して学び続けられる制度や支援はあるか。

教育長 体験活動も実施し、希望によりオンライン授業も可能。町が認定したフリースクールは出席扱いとなる。多様な学び場の拡充を検討する。

要望 公平に学べる環境整備と、教職員の理解促進に向けた研修を求める。



様々な対策は子どもたちに届いているのか

※レスパイト：日常的に育児を担う家族が、一時的にその役割から離れて心身の休息をとること。



学校行事は記憶の宝物

問 子どもたちや保護者からは、運動会の内容に物足りなさを感じるという声が多い。ある大学の研究論文では、児童は運動会に一貫して高い好意を持ち、ポジティブな意識が圧倒的であると結論づけている。運動会の本質的価値を損なわず、主役である子どもたちの気持ちに寄り添うべきだと考えるが、見解を伺う。



スマホで視聴
できます▼



は た の おさむ
羽 田 野 治 議員

学校行事の今後の方向性は

町長 教育的意義を改めて見直し、教育活動の充実に努める

教育長 町では、子どもたちが「自分たちで作り上げる運動会」を大きなテーマとしており、目標達成に向けた教育的展開を行っている。ご意見は参考にさせていただきます。

問 入学式や卒業式などの式典も簡素化されているが、これらは児童生徒の節目を祝う大切な機会であり、日頃から学校を支える地域の方々に参加し、共に成長を喜ぶ場として大きな意義がある。今後、地域の方々に参加できる式のあり方についてどう考えるか。

教育長 地域への感謝は極めて重要と認識しており、状況を踏まえつつ、より多くの方に感謝を伝えられる式典としていく。



子どもたちを育てる地域の力

問 中学校部活動の地域移行について、今年度中に明確な運営方針と具体的なロードマップの提示を求める。

教育長 今年度中に方針を示したい意向である。部活動は多様な子どもたちの居場所でもあるため、その役割も踏まえて検討し、未来づくりの一環としてビジョンを提示していく。

要望 教育委員会の自己評価に対し、外部有識者から2年連続で同様の指摘がされている。特に部活動や家庭教育支援は指摘が強まっており、今年度末には改善策とその進捗を明確に示すことを強く求める。

防災・減災対策は

問 新防災気象情報の周知と、防災意識向上のための啓発活動について伺う。

町長 国の防災気象情報の改正に伴い、警報の発表頻度やタイミングが変化する可能性があるため、住民への丁寧な周知に努めている。広報チラシの配布、ホームページでの周知、各地区区長を対象とした防災研修会などを実施した。今後も、防災講話や防災訓練など様々な機会を活用し、警報を待たずに自ら早めに行動する意識の醸成に取り組む。



自ら行動できる準備と心構えを

6月定例会報告②

第4回定例会議案一覧

番 号	件 名	結 果
議案第29号	令和8年度新富町一般会計補正予算	可決 全員
議案第30号	令和8年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決 全員
議案第31号	令和8年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決 全員
議案第32号	令和8年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決 全員
議案第33号	新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決 全員
議案第34号	新富町廃棄物の適正処理、減量化及び資源化等に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員
議案第35号	工事請負契約の締結について(令和8年度 防衛施設周辺整備統合事業日向新富駅東公園トイレ他建設(建築主体)工事)	可決 全員
議案第36号	工事請負契約の締結について(令和8年度 新富町西体育館天井改修工事)	可決 全員
議案第37号	物品売買契約の締結について(令和8年度 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業 小型動力ポンプ積載車更新)	可決 全員
議案第38号	令和8年度新富町一般会計補正予算	可決 全員
同意案第3号	監査委員の選任について	同意 全員
同意案第4～11号	農業委員会委員の任命について	同意 全員
同意案第12号	副町長の選任について	同意 全員
報告第7号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定め和解することについて)	— —
報告第8号	令和7年度新富町継続費繰越計算書について(新富町一般会計)	— —
報告第9号	令和7年度新富町繰越明許費繰越計算書について(新富町一般会計)	— —

6月臨時会報告 一般会計補正予算(第4回)

歳入・歳出ともに **8,004万9千円**を増額
 予算総額は **168億1,664万4千円**に

主な取り組み事業

☆物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 4事業

農業者等原油、物価高騰対策支援給付金

- 施設園芸・お茶・養鰻・畜産の1経営体あたり50,000円
- 露地の1経営体あたり30,000円

商工業原油価格・物価高騰対策支援給付金

- 商工業者等に1事業者あたり20,000円
- 社用車1台につき10,000円(上限3台)

福祉事業者等物価高騰対策支援金

- 福祉・介護事業所等に1事業所あたり50,000円

医療機関等物価高騰対策支援金

- 医療事業者等に1事業所あたり50,000円



※支援給付はいずれも対象要件を満たす事業所等に限る。

第5回臨時会議案一覧

番 号	件 名	結 果
議案第39号	令和8年度新富町一般会計補正予算	可決 全員
議案第40号	工事請負契約の締結について(令和8年度 防衛施設周辺整備統合事業三納代多目的公園(仮称)排水路工事(1工区))	可決 全員
議案第41号	工事請負契約の締結について(令和8年度 防衛施設周辺整備統合事業三納代多目的公園(仮称)排水路工事(2工区))	可決 全員
議案第42号	工事請負契約の締結について(令和8年度 防衛施設周辺整備統合事業富田浜公園プール解体工事)	可決 全員
議案第43号	工事請負変更契約の締結について(令和7年度 防衛施設周辺民生安定施設整備事業 越馬場～野中線道路改修工事(2工区))	可決 全員

文教厚生常任委員会行政調査報告



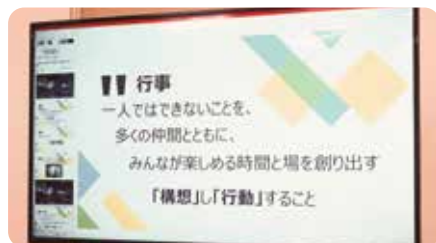
埼玉県 飯能市立名栗小学校



名栗小学校は全校59名の小規模校で、転入児の多くが不登校経験を持つなど多様な背景を抱える。自然環境を活かした学びを重視し、子どもが「本来の自分」を取り戻す回復的教育を実践。支援ニーズの高い児童が多いが、学校全体で特別支援的環境を共有し、異学年交流や少人数の強みを活かした丁寧な関わりを行っている。登校形態は柔軟で、校長室のみの登校な

ど個々に合わせた対応が可能。評価は選択制で、努力や過程を重視。地域住民の学校参加が活発で、入学式・卒業式への参列や寄付、ボランティアなど地域と学校が一体となった運営が特徴。山林を活用した総合学習プロジェクトなど、地域資源を教育に結びつける取り組みも進んでいる。

埼玉県飯能市 自由の森学園中学校・高等学校



自由の森学園は、競争や管理を排した「子どもを一人の人格として尊重する教育」を実践している。定期テストや偏差値評価を行わず、言葉による評価や対話を重視。生徒主体の「森の時間」では農作業や地域活動、修学旅行づくりなどを通じて主体性と協働性を育む。不登校経験者も多く受け入れ、「学校は子どもに“ようこそ”と言える場所であるべき」という理念の

もと、安心して自分を取り戻せる環境を整えている。問題を排除するのではなく、起きた時に共に向き合う姿勢が特徴で、自由と責任の両立を重視。地域・保護者・外部人材が関わる開かれた学びの場が形成されており、教育を核とした地域づくりの可能性を強く感じる視察となった。



埼玉県上尾市 子ども・子育て支援複合施設 (AGECOCO)



上尾市では、発達相談・療育・保育を一体化した複合施設「AGECOCO」を整備し、相談支援・児童発達支援・公立保育所を同一建物に集約した。移転によりアクセスが改善し、つくし学園の定員は40名から70名へ拡大。こども発達センターとの連携により、切れ目のない支援が実現している。交流保育や合同避難訓練など、自然な関わりを通じたインクルーシブ教

育を推進。医療的ケア児も受け入れ、看護師配置で安全性を確保。相談件数増に対応するため専門職の増員や体制整備を進めている。地域との交流イベントも定期開催し、障がいのある子どもと地域住民の接点を広げている。複合化により保護者負担の軽減、支援の効率化、地域共生の促進が確認できた。

視察を終えて

子どもの多様性を前提に、発達支援・保育・学校教育が切れ目なく連携する体制づくりが急務である。AGECOCOの複合化、名栗小の個別最適な学び、自由の森学園の「ようこそと言える学校」に学び、新富町でも教育と福祉を統合した支援拠点の整備や柔軟な

学びの場の拡充を進めるべきである。また、地域住民・企業・NPOが学校と協働する仕組みを強化し、地域全体で子どもを支える開かれた教育環境を構築することが求められる。

Pick up ほしにとどける ねがいごと

宮崎県新富町議会だより



のぞみ保育園



新町保育園



いずみ保育園



上新田保育園



新田保育園



一真下新田保育園



一真保育園



上富田保育園



ひとつせ保育園



八幡保育園



新富幼稚園

発行責任者／新富町議会議長 阿萬誠郎

印刷／ふくしげ印刷

あとがき

各地で豪雨災害が相次ぎ、防災への備えが改めて問われています。新富町でも台風6号により道路法面の崩壊や倒木による交通の寸断など多くの被害がありました。人的被害がなかったことは幸いです。

気象庁は春からエルニーニョ現象が発生していると発表しており、発達した台風が接近しやすくなる恐れが指摘されています。また、新たな防災気象情報の運用が始まり、避難行動が取りやすくなりましたが、日頃からの心構えと準備が重要です。地域ごとのリスクを共有し、助け合える関係を築くためにも、地区のつながりを深めることが求められます。

災害はいつ起こるかわかりません。町民の皆さんと力を合わせ、安全で安心できるまちづくりに議会として引き続き取り組んでまいります。

さなえ

議会広報特別委員会

委員長 羽田野 治
副委員長 小山 早苗
委員 今村 行信
松浦 美緒
石崎 俊二
損斐 兼久

連絡先 議会事務局
電話 33-6139